

学校だより



みなみたなか

平成25年5月31日
練馬区立南田中小学校
校長 梶谷 雅弘

「感動に包まれた運動会」～ご声援有り難うございました～

校長 梶谷 雅弘



応援風景



「GON～ナンタナ王国の小さな王様たち～」



「Jumping Now Smile !」



「One step to the future」



25日には、お忙しい中、ご来校いただき、最後まで温かいご声援を戴きまして誠に有り難うございました。お陰様で、感動に包まれた運動会を開催することが出来ました。

運動会後の感想を聞くと、全力を出し切り演技をした満足感、友達と力を合わせて練習に取り組み当日大成功させた喜び、徒競走では一位になれなかったけれど全力で演技をした満足感、保護者の皆様の温かい声援が励みになったこと、これまで支えてくれた友達や保護者の皆様への感謝、友達と一大行事を成し遂げた喜び、などを嬉しそうな顔をしながら聞かせてくれました。

当日も、数限りない感動を児童からももらいました。

徒競走やリレーで転んでしまってもすぐに立ち上がり全力疾走をする児童、言葉で言うのは簡単ですが、実際に実践できた子供たちを誇りに思います。演技や係活動でも一人一人の児童が輝き、練習の成果を全て発揮してくれました。

また、前日準備で、副校長が運んでくれたテントの支柱のひもをほどいていたとき、4年生の応援団の女子が、「応援団の練習があるんで残っているんです。まだ、時間があるので、お手伝いします。」と声を掛けてくれました。重いのでお礼を言って断りましたが、その気持ちに感激しました。

もう一つ運動会後の反省会で聞いた話を一つ紹介します。

組み体操の前日の通し練習の際、足をけがをしていた6年生の上に乗ることになっていた5年生が、「俺は、体重が重いので、上には乗れない。」と乗らなかったそうです。自分が乗ってさらにけがを悪化させてしまうのではと考えた末の行動だったそうです。しかし、当日は、6年生が、「俺の足は心配ないから安心して上に乗れ。」と励まし見事に技を成功させたそうです。苦しい練習に耐えてきた仲間だからこそ、自然に生まれた会話なのだと思います。このような素敵な子供たちを大変愛おしく思います。

今日、ご紹介した感動的な話は、学校全体のほんの一部に過ぎません。感動的なエピソードは、児童一人一人にもあるはずです。

ぜひ、お子さんの苦労話をたっぷり聞いてあげてください。

各学級とも、運動会で学んだことを今後の学習や生活に活かして日々の指導に当たって参ります。

今後とも、温かいご支援をよろしくお願いいたします。

給食当番児童のマスク使用のお知らせ

衛生面を考え、6月11日(火)より、給食当番の児童は、給食配膳の際に白衣着用とともにマスクを付けて作業をすることになります。つきましては、ランチョンマットと一緒にマスクを袋に入れ、常時持参してください。給食当番でマスクを忘れてしまった場合は、使い捨てマスクを渡します。その場合は、新しいものを用意して担任へ返却していただきますようお願いいたします。